

平成26年度 三条市算数部 活動報告

部長 大原 貞雄

1 研究主題

「少人数グループでの学び合いを通して、考えを伝え深めていく授業の工夫」

2 研究の概要

昨年度の成果と反省を基に、5月の第1回部会で、実際に授業を参観し協議することこそがお互いの指導に生かすことができる研修になると確認し合った。年2回の一斉研修のどちらも公開授業を計画し、「ペア活動での学び合い」を取り入れた授業を2校の低学年で実施した。また、協議会の持ち方についても工夫し、研修を深めた。

3 研究の実際

日時・会場	活動の概要
<p>6月20日(金) 14:00～16:40</p> <p>三条市立 大島小学校</p>	<p><u>第1回一斉研修（授業研修会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元名 2年生「ひき算のひっ算」 ・ 授業者 大島小学校 若月 愛子 教諭 ・ 本時のねらい (百何)－(1位数または2位数)で、被減数の十の位が空位のときの計算のしかたを考える。 ・ 協議の視点 <ol style="list-style-type: none"> ①ブロック図を用いながら説明させたことは、本時のねらいを達成することに役立ったか。 ②ペアで課題を解決していくことは、自分の考えをもち、伝え合うことに有効だったか。 ・ 指導者 三条市教育委員会 小中一貫教育推進課 教育センター 指導主事 小杉 洋一 様 
<p>9月22日(月) 14:00～16:40</p> <p>三条市立 嵐南小学校</p>	<p><u>第2回一斉研修（授業研修会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元名 1年生「10より大きい数」 ・ 授業者 嵐南小学校 鈴木 真理奈 教諭 第一中学校 小林 敏彦 教諭 ・ 本時のねらい 20より大きい数を比べたり、数えたりする活動を通して、10のまとまりの大切さに気付くことができる。 ・ 協議の視点 <ol style="list-style-type: none"> ①ペアでの学び合いは、考えを広げたり問題解決をしたりする上で有効だったか。 ②10のまとまを作るよさに気付くために、今回用いた教具と取り入れた活動は有効だったか。 ・ 指導者 三条市教育委員会 小中一貫教育推進課 教育センター 指導主事 小杉 洋一 様 

4 成果と課題

今年度の最大の成果は、何と言っても2回の授業研修を実現できたことである。意欲的に名乗り出てくださいった授業者の方々に感謝したい。こういった姿勢が算数部全体に刺激と活力を与え、お互いが高め合える研修につながっていくと考える。もう一つの成果は協議会の工夫である。今年度は2回とも、KJ法にワールドカフェ形式をミックスさせた方法で実施した。部員同士の話し合いが一層深まったと好評であった。

次年度の課題は、この授業研修の流れを継続していけるかどうかである。授業者の確保はもちろんのこと、運営面での課題も少なくない。例えば、今年度第1回目のように会場校が小規模校だった場合、1名の部員がそのまま授業者となってしまう、当日までの準備に負担が大きいこと。また、第2回目は会場校の都合と授業研修を優先したため、市全体の一斉研修日と違う日に設定することになり、欠席の部員が多かったことなどがある。次年度はこれらの課題をクリアし、授業研修を実施できるようにしたい。